

# ほっと ボランティア

## 商業校生から手縫いのプレゼント

〜ひとり暮らし高齢者に

手作り花ふきんを贈る

1月30日、市健康福祉会館で中津商業高校家庭クラブの生徒から、西地区民生委員児童委員協議会に、花ふきん200枚が贈呈されました。

この花ふきんは、生徒（2年生196名）が手作りし、民生委員児童委員を通じて地域のひとり暮らし高齢者に贈られるものです。

裁縫に慣れていない生徒が多く、怪我をしながら一生懸命作りあげました。

贈呈式後に高齢者宅を訪問し、手渡すと、「毎年ありがとうでございます。

もったいなくてなかなか使えないです。」とにこやかに受け取られました。

生徒から、「長生きの秘訣は？」と聞かれると、「何かしないかんことがあると元気であるしかないね。」と話されました。

花ふきんを通じて生徒と高齢者の交流に花が咲きました。



## 高山小学校3、4年生が福祉体験

1月23日に高山小学校3、4年生が福祉体験を行いました。

4年生18人は点訳サークル「よつばの会」と手話サークル「すみれの会」を講師に迎え、点字・手話体験を行いました。



3年生17人は点訳サークルともしび会を講師に迎え、アイマスク視覚障がい者体験を行いました。児童からは「目が見えないことは普段の世界と全く違っていて怖かった。」「点字ブロックの上では立ち止まらず、荷物を置かないようにしたい。」などの感想がありました。

## 阿木小学校5年生が点字・アイマスク体験

2月25日に阿木小学校の5年生23人が点訳サークルともしび会を講師に迎え、点字体験とアイマスク視覚障がい者体験を行いました。



### 子どもたちの感想

- ・アイマスク体験では、おもしろそうだと感じていたけど、やってみたら全く見えなくて怖かった
- ・点字は向きをかえると、違う読み方になるので大変だった
- ・視覚障害者の目印になる白杖を持っている人にすすんで手伝ってあげたい

## 災害ボランティア養成講座 開催

2月23日、中津川環境センターで、今年度2回目となる「災害ボランティア養成講座」を開催し、約60人が参加しました。

今回は、岩手県大槌町のおらが大槌復興食堂の店長である岩間美和氏をお招きし、ご自身の震災での辛い経験を話して感じたことや復興に向けた取り組み「一般社団法人おらが大槌夢広場」を立ち上げるに至った経緯と活動の内容などについてお話いただきました。

岩間氏の講演を通じて、復興にはほど遠い現実や被災地で暮らす人々のふるさとを愛する思いを知り、参加者からは、「まだまだ被災地は支援が必要だと感じた。自分にできる支援を続けていきたい。」などの声がありました。

また、中津川市が被災したと想定し、災害ボランティアセンター立ち上げ演習を行い、役割や機能などについて学びました。



▲岩間美和氏の講演

もう一度家族や近所、ふるさととの大切さを見つめ直してみましよう



▲災害ボランティア立ち上げ演習

市内の防災ボランティア団体のみなさんにご協力いただきました

# シニアボランティア養成講座

シニアパワーを中津川市で活かそう

2月12日と19日の2日間、中津川文化会館で、シニアボランティア養成講座を開催し、定年退職者など18人が参加されました。1日目はアイマスクを使用した視覚障がい者体験や介護体験、手話体験などを行いました。

## 車イス介助体験



考えていたよりもずっと大変でした

## アイマスク視覚障がい者体験



介助者の責任の重さを痛感しました



▲講座終了後に全員で記念撮影

2日目は、社協登録ボランティア団体のうち6団体が団体紹介を行い、活動内容や活動を始めたきっかけなど、直接お話を聞きました。

その後、福祉施設見学やボランティア活動の現場を見学を行いました。

最後は樋田邦彦会長より「今後の活躍を期待しています」と、修了証が手渡されました。

## 参加者の感想

- ・無理せず自分のできることをしたい
- ・興味のあるボランティア団体に入ってみたい
- ・ボランティア活動を始める良いきっかけになった



▲登録団体による活動紹介

# ボランティア交流会

ともに生きることの大切さを考える

2月2日、市健康福祉会館で、ボランティア交流会（社協と登録ボランティアネットワーク協議会の共催）を開催し、市内ボランティア等95人が参加しました。

今回はロンドンパラリンピックのゴールボール競技の金メダリスト中嶋茜さんの基調講演と、ボランティアの事例発表、グループ別で課題検討などを行い、さまざまな条件で生活している人が、地域で支えあって生きていくことの大切さを考えました。



グループごとの課題検討で交流を深めました



講師の中嶋さんから意見や助言をいただきました

また、アトラクションでは第9区のみなさまに神代獅子の舞いを披露していただきました。

参加者からは「中嶋さんとボランティア活動の話に、元気がもたらえた」「今後、ここで得たものを地域にどう活かすかが課題だと思う」などの声がありました。

# つながる・ひろがる ボランティア団体 紹介コーナー

## 「点訳サークルともしび会」

（発足 S56年4月会員数12人）

点字図書の作成と社協などでの点訳を中心に活動しています。点訳はパソコンで行います。自宅で各自打ち込み、校正を交代で行い、点字プリンターで打ち出します。

毎月第1・3金曜日の午後1時半から健康福祉会館（3階ふれあい電話室）で定例会を行い、打ち出しをしながら活動報告等の打合せや勉強会を行っています。また、依頼があれば小中学校の点字教室やアイマスク体験等のお手伝いもしています。

興味がある方は見学に来てください。



福祉ボランティアに関することは  
社協地域福祉課にお気軽に  
ご連絡ください

☎06-1111111 (内線)

